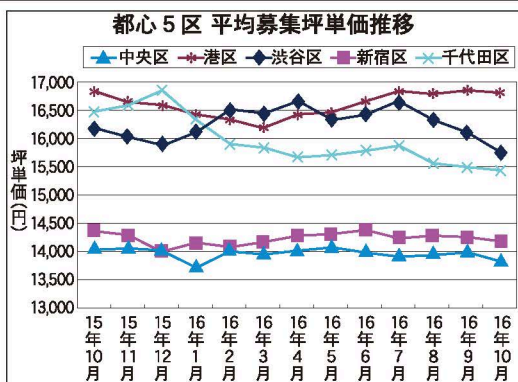


高額住戸の割合減少で 渋谷区の募集坪単価下落

リーシング・マネジメント・コンサルティング

マーケティングサポートを手掛けるリーシング・マネジメント・コンサルティング(東京都港区)は11月30日、2016年10月末時点での都心主要5区(中央区、港区、渋谷区、新宿区、千代田区)の賃貸マンション坪単価推移・礼金推移を発表した。



対象は06年10月以降に竣工したRC・SRC造マンション。募集坪単価は、渋谷区および中央区にて下落、港区、新宿区および千代田区で横ばいとなった。募集礼金は、中央区にて下落、その他の4区で上昇した。

各区における平均募集坪単価の前月比は、渋谷区にて坪単価1万6000円を超える高額の住戸の募集割合が減少傾向にあり、マイナスイナス344円で3カ月連続の下落となった。そのほか中央区ではマイナスイナス141円、港区、新宿区および千代田区すべてで下落した。一方、10月1日時点の都心5区の人口は5区すべてで増加している。世帯数は千代田区にてわずかに減少したが、その他4区では増加した。

代田区ではほぼ横ばいとなった。前年同月比では、マイナスイナス1040円となった千代田区を始め、5区すべてで下落した。